



平成26年 8 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ ド レ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 村 眞 良
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 北 垣 栄 一
(TEL. 03-3664-9630)

第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び 営業外費用計上に関するお知らせ

当社が平成26年 2 月 14 日に公表した平成26年12月期第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて平成26年12月期第 2 四半期連結累計期間 (平成26年 1 月 1 日～平成26年 6 月 30 日) において営業外費用 (為替差損及び持分法による投資損失) を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成26年12月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異及びその理由

(1) 平成26年12月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9	百万円 △491	百万円 △496	百万円 △498	円 銭 △74.55
実 績 値 (B)	21	△573	△578	△580	△86.84
増 減 額 (B-A)	13	△81	△82	△82	
増 減 率 (%)	144.4	—	—	—	

(2) 差異の理由

一部製品について期初で想定していたよりも多くの受注があったため、売上高が前回予想を上回る結果となりました。また、米国における臨床試験に想定より多くの費用を要したため営業損失、経常損失、四半期純損失について、前回予想を下回る結果となりました。

2. 営業外費用（為替差損及び持分法による投資損失）の発生について

当社は、平成26年12月期第2四半期連結累計期間において、為替差損を7百万円、持分法による投資損失を12百万円計上いたしました。

為替差損は、主に為替相場の変動に伴う外貨預金の為替差損であり、持分法による投資損失は、持分法適用関連会社の株式会社ケイ・エム トランスダームが研究開発を主軸とするベンチャー企業であり、研究開発投資が先行していることにより継続的に期間損益がマイナスとなっているためです。

なお、業績への影響につきましては、本日（平成26年8月1日）公表の「平成26年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

3. 平成26年12月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異及びその理由

(1) 平成26年12月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9	百万円 △475	百万円 △477	円 銭 △71.42
実績値（B）	21	△571	△573	△85.76
増減額（B－A）	13	△95	△95	
増減率（%）	144.4	—	—	

(2) 差異の理由

一部製品について期初で想定していたよりも多くの受注があったため、売上高が前回予想を上回る結果となりました。また、米国における臨床試験に想定よりも多くの費用を要したため経常損失、四半期純損失について、前回予想を下回る結果となりました。

以 上